



公益財団法人都市活力研究所と一般社団法人うめらくは、共同でトークイベント「キタ再発見の会」「うめらく未来ミッション」を開催します。「キタ再発見の会」は、キタエリアで多くの時間を過ごされる方に、是非キタエリアの豊富な魅力を知っていただき、もっと好きになっていただくきっかけとして開催しています。「うめらく未来ミッション」は実際に地域で活動している方と、地域で活動をしたい人をつなぐ交流の場として定期開催しています。未来にミッション(使命)を感じて活動する方々がつながり合うことにより、地域活性化仲間となり、実践のきっかけとなりますよう、皆様に気軽に立ち寄りいただき、夜のひとときにごストークや意見交換を愉しんでいただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

第17回キタ再発見の会×うめらく未来ミッション (vol.25)

□テーマ 『新住民と共に地域共生社会を目指す中之島の未来』
□コーディネーター：一般社団法人うめらく 代表 山田摩利子
□ゲストスピーカー：中之島青少年指導委員代表 小國 展豊 様
中之島地区民生委員 森 由美 様 様
□日時 2021年6月25日(金) 19:30-20:30
□方法 オンライン会議システム Zoom ウェビナーによる開催
今回のエリアは、堂島川と土佐堀川に囲まれた水都大阪のシンボルアイランドといわれています中之島。中之島は、公園、文化建築、芸術施設、コンベンションセンター、世界有数の大企業などが入るオフィスビルなどがあり、ここ10年ほどでタワーマンションが建設され、人口も大幅に増加しました。2024年には小中一貫校の開校も予定されていて、大阪キタエリアでもますます注目されるエリアとなっています。そんな中之島では、ここ近年、新しい住民の創意工夫を凝らした地域活動により、既存住民と新住民のつながりが育まれています。大阪キタエリアでも課題になっているマンション住民と共生する地域の未来のミッションについて、みなさんと考えてみたいと思います。

山田氏：今回もオンライン開催ですが、うめきた外庭スクエアから配信しております。今日のゲストをご紹介しますと思います。

森氏：中之島で住んで11年になります。森と申します。

小國氏：中之島に住んで14年。会社員をしています小國と申します。

山田氏：よろしくお願ひいたします。まずお2人の地域に関わるきっかけをお伺いしてもよろしいでしょうか。

森氏：マンションに入居してきたときにバーベキューをするよというチラシをポスティングしてくれたのです。

山田氏：中之島にバーベキューをする所があるのですか？

森氏：今美術館が建っている所が更地だったので、そこでやるはずだったのですけれども、その日が雨で、室谷さんの喫茶店のガレージで肉を焼いて喫茶店で食べました。私たちも来たばかりで誰も知り合いがいなかったで、夫婦で面白そうだから行ってみようということになってそこで意気投合しました。

小國氏：私は子供が生まれて3歳ぐらいの時に、ラジオ体操をどこかでやっていないかとずっと探していて、なかなか見つからなくて、3~4年目でやっと見つけて行ったら、5~6人しかいなくてほほ家族みたいな感じでラジオ体操をしておられた中に入れてもらいそこからですね。

山田氏：中之島には公民館も会館も無いのでしょうか。

森氏：無いですね。

山田氏：ホームページは？

小國氏：最初は無かったです。

森氏：最初はチラシ配布していました。中之島のホームページを作りたいと言われて、私は一応仕事でWEBデザイナーをしていますので、「作ったわ！」みたいな感じでした。中之島連合振興町会で調べて頂ければ出てきます。

山田氏：小國さんは先ほどのラジオ体操を見つけてお子さんと一緒に参加されて、10年~11年ぐらいはそのラジオ体操にずっと関わっておられるという感じですか。

小國氏：ラジオ体操に関しては何年目からか、気が付いたらやる側になっていました。最初は2週間弱しかしていなかったのですが、今は夏休み期間全部やっています。毎日景品を渡しています。一回始めて辞められないようになっただけなのですが、想像以上に子どもが増えていきまして、今、60人ぐらい来ますね。

山田氏：その子ども達はどの学校に通われているのですか。

小國氏：西区にある西船場小学校にほとんどの子どもが行っています。歩いて7~8分です。

森氏：中之島エリアの紹介をしますと、1丁目は中之島公園から大阪市役所にかけて、2丁目には日本銀行があります。3~6丁目に住民

が住んでいます。

山田氏：お二方もお住まいは3丁目~6丁目エリアですね。ちなみに、地域活動に参加されて良かった点は？

小國氏：町内会というところと結びつきが強く、1回入るとあれやれとか結構色々あると思うのですが、中之島はいい意味でユルくて、一言で言うとメリットしかない。人と繋がれて、旅行も行けてね。

森氏：これは京都で生八つ橋を作っているところですね。40人ぐらいいましたかね。この時はバス1台でした。パンダの赤ちゃんが生まれた時に白浜に行ったときはバス2台でした。



山田氏：これはラジオ体操ですか。科学館のお庭みたいな所で、結構子供さん多いですね。(写真左上)

森氏：次はお餅つきですね。(写真左下) たまたま外国人の旅行者の方が面白そうに見ておられたので、「お餅ついてみる？」と言って引っ張り込みました。



いろいろな方が参加してくれています。これはハロウィンですね。はじめはお月見会だったのですけれども、若いお母さん方からハロウィンをしたいという声が上がって、じゃあよろうよということになりました。中之島がすごいなと思うことは、何かしたいと言ったら誰も止めないんです。

山田氏：中之島の町会加入率はどのくらいですか？

森氏：あまり高くないですね(笑) 地域行事には町会に入っていないなくても参加できるので。

小國氏：そこが良いところかなと思います。

森氏：値段は若干高くなったり、無料のものが500円だったりしますけれども。

森氏：精霊流しと言いまして、毎年8月15日に中之島バンクスというところの川手の方で、お盆のお供物をお供えして精霊流しをしています。でも、直に流



したらだめですね。環境破壊になるので。それでいろいろお骨折り頂きまして、船で流すことができるようになりました。

山田氏：精霊流しのイベントは結構大規模ですけれども、町会の方だけでされているのですか？

森氏：町会と企業さんをお願いしまして、協賛金も頂きました。でも今年からちょっと企業さんの方に移管して、町会がお手伝いするということになりました。

森氏：他にも大阪市立科学館(以下、科学館)の中の工作室で、防災の訓練も行ったことがあります。地震や台風が起こった時に避難するにはどうしたら良いか話し合いました。中之島は科学館が避難所になっている関係で、科学館さんが場所を貸して下さいました。

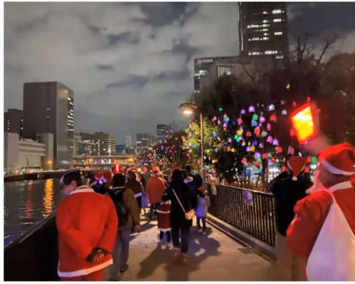
山田氏：防災に感心が高い方が多いですか？

森氏：そうですね。いつ地震が来るかわかりませんしね。

一応、科学館が避難所になっているのですが、基本は在宅避難です。

山田氏：お一人で住まわれている方も中にはいらっしゃって、マンションではどうしてもわからないところがありますけれども何か工夫されていることはありますか？

森氏：私は民生委員をやっているんで、役所の方から名簿は頂くのですが、一人暮らしの方は把握しておりますのでお声も掛けるようにしております。



森氏：こちらの写真(写真左)は、“サンタで夜回り”という私と中之島青少年福祉委員の室谷さんが4年前から始めたのです。室谷さんとサンタの恰好をして夜回りしようという話になって、年末にしようと思ったら、お子さんをお持ちの方から、年末は帰省があるから早くしてほしいという声が上が

りまして、お餅つきのあとの夜なんかに、中之島の4丁目から6丁目まで回るような感じでやっています。

山田氏：それも町会に入っているかどうかは関係ないですね。

森氏：はい。保険には入るので必ず保護者と一緒に歩いて下さいということなんです。

山田氏：これをきっかけに顔見知りになったりするんでしょね。

森氏：そうです。あそこにあんな子どもがおるよとか、子どもたちからも知らない大人ではなくて、あの時のおおちゃんやとか、おはようとか挨拶してくれるようになって、随分風通しが良くなりますね。この夜回りは堂島さんにもすごくご協力頂きました。堂島地域ではお水汲みというのをされていて、節分に薬師堂で鬼の格好をして拍子木を持って回るので、その拍子木がたくさんあるので使ってよいといわれます。そしてゴールが堂島中之島会館なのです。

小國氏：堂島中之島会館で、みんなで歌を歌ったり、おやつをもらったりして終わるのです。堂島地域は今すごく子どもが少なく、逆に中之島はものすごく増えていて、一緒にやりましょうという雰囲気も結構ありますね。この夜回りは大好評です。

山田氏：なるほど。みんなが楽しんで参加できるのがいいですね。

小國氏：僕、町内会に入る前は、もっと企業と何かやっているのかなと思っていましたが、入って思ったのはあまりにも町内会が小さくて、企業は超ビッグ企業ばかりで差が激しすぎたと感じました。

山田氏：会議をする時は、企業さんも一緒に参加しないのですか？

森氏：精霊流しぐらいですかね。

小國氏：イベントがあれば、その目的に向けて入るのはいいのですが、一緒に何かやるとなるとあちらの意見もあるのでなかなか難しいですね。それが町内会に入って一番びっくりしたことですね。

山田氏：中之島で大きなイベントといえば何ですか。

森氏：盆踊りですね。中之島だけは企業主体でグランキューブです。唯一北区の盆踊りで、河内音頭を踊るのは中之島だけです。私は踊り部で、小國さんの奥さんもです。

山田氏：北区の人には盆踊りがすごく好きじゃないですか。その中之島の“踊り部”では町会に入っている人だけが踊れるのですか？

森氏：いえ、全然(笑)。来たかったらおいでという感じで、こちらでもウェルカムです。

小國氏：ほんとに中之島は錚々たる企業ばかりです。僕は青少年指導員をしているので、子どものことを考えるとキッザニアとか、すごく人気があるじゃないですか。町内だけでもものすごい企業があるので、リアル・キッザニアがいくらでもできるじゃないかと思っています。そういうのをやっけて、大人ってこんなに頑張っているのだなというのを子どもたちに見せてあげたいという気持ちはあるかなと思います。

山田氏：中之島では、企業さんが町会に入るといった概念ではなく、企業連合のようなもので企業同士はつながっていますね。インターネットで“中之島”とかで探したら、企業さんたちによる街の景観を一緒に考えようというようなものは載っていたのを見たのですが、そこでの連携はどうですか？

小國氏：まあ、徐々にと思っていますけれども、こちらが小さすぎるのでね。なかなか難しいところがあるかなと思います。

山田氏：地域活動のなかで企業が活動している事例として見られるのは多くは清掃活動です。ね。

小國氏：中之島も、タバコのポイ捨てがね、今すごくいんです。それこそ協力してやらないと大変なことになっています。コロナで喫煙所がなくなって、みんな外で吸うのはいいのですが、そのままポイ捨てするんです。いやいやちょっとちょっと・・・っていう感じはなりつつあります。

山田氏：それこそ、みなさんの知恵を出し合って対策したらもっと良いことできるんじゃないかな。

〇〇〇

質問1：“中之島の地域活動協議会（地活）ができると思いますか？”

森氏：中之島だけ「ない」と聞いている。なぜないのだろう。

山田氏：役員さんが必要だという声をあげていただかないといけないですが、“地活”があれば、さっき仰っていた、企業、住民、学校とか訪れる人も含めて、中之島が好きだという人たちが街のことを一緒に考えましょうということを住民主体で動かすことができます。今それがないから、企業の団体さんでそれぞれまちづくり団体みたいなものができていくつもできているという状況にあります。それら全部ひっくるめて、大阪市は“地域活動協議会”というものがあるから、中之島も住民側のほうから声を上げられたらできる可能性があるのではないのでしょうか。

会場：まずは区役所の地域課に聞いたらいいのでは？

質問2：“今後の中之島の展望はいかがでしょうか。例えば子どもが増える街なのか、高齢者が増える街になるのか、どう思いますか？”

森氏：とりあえず、学校ができるということは良いニュースかなと思っています。

山田氏：小中一貫校ができるので、子どもさん、ファミリー世帯が増えるということです。ビジネス街のイメージがあるけれども、そこが子育てしやすい街というかたちで、ラジオ体操をやっていると、夜回りサンタにも参加できる人が出てきたらすごく住みやすい良い街だなという気持ちになろうと思います。

小國氏：いま西区に通っている登校班だけでも、小学生だけで100人は軽く超えているのです。それ以外に私立の学校に行っている子もいっぱいいるのでね。小学校があれば、地域活動に参加される方もかなり増えるのではないかなと思います。私は、それまでのつなぎ役の気持ちでやっています(笑)今はPTA すらないですから、つながりにくいのですけれども、学校があればつながりがすごく増えそうな気がします。

質問3：“町会の役員はボランティアですか。または輪番制ですか？”

森氏：ボランティアです。輪番もなにも、そんなたくさん人がいません(笑)。

山田氏：でも今日はお二人だけではなくて地域の方も会場に来て下さっているのですけれども、みんな楽しそうです。

森氏：楽しいですよ。私たちは子どもが成人して家を出ているので、子どもが居たらお母さん方と繋がれるのですけれども、そういった接点がないですね。大人だけでこの街に来てしまったのですが、なんでこんなに地域に馴染んでいるのだろうと思って、それはありがたいですね。

山田氏：中之島はそんな街だそうですね。何か表から見ている人が本当に居るのかなとか、活動をやってもらえるのかなといったイメージがあったのですが、そんなに広く華やかに活動をしながら、街の人達が喜んでくれることを地道にされているということがよくわかりました。今日は地域のことをご紹介頂きましてありがとうございました。

三本松：先ほど小國さんが仰っていたキッザニアのお話ですが、福岡の天神というところに、“We Love 天神協議会”という団体がありまして、そちらで夏休みに子供向けのお仕事体験というのをされていて、例えば西鉄さんやテレビ局が子供向けのお仕事体験をされているという事もありますので、まさに中之島も企業さんの団体がありますからうまくつながって頂いたり、先ほどの地域活動協議会を作られたらより距離が縮まって色々なコラボレーションができるのではないかなと思います。中之島というのは住んでみて一番オイシイ街というのでしょうか。そういうのを目指されたらどうかかなと思いました。本日はありがとうございました。

